

事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	国分寺市立にしまち児童館および西町学童保育所
指定管理者名	株式会社 こどもの森

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
画収の支適計	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年間を通しての収支において適正に執行した。
	協定等に基づき業務が実施されているか	3	西町プラザの特徴を活かし、9月には学童児との多世代交流として敬老行事で利用者へ向けて手紙を書きそれを掲示した。12月には地域の方から菓子を頂き、地域の団体に協力して頂きしめ縄作りを実施した。3月のひな祭りに合わせて雛人形を飾り、利用団体や生きがい交流事業の受講者の吊るし雛を飾り利用者を楽しんでもらった。
業務の履行状況の評価	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	仕様書等で求められた時間を守った。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員数が確保されている。また、館長を中心として執行体制が明確になっている。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	4	仕様書で求められた有資格者を確保している。学童においては、放課後児童指導員3名を配置し、非常勤職員の資格取得者も配置した。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	適正に保管している。また、随時必要な報告を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	日々、清掃を行っている。児童館においては、休館日の日曜日は洗濯・お掃除デーとし、トイレ掃除とカバー類の洗濯、ワックスがけを実施した。学童においては、開所時と児童が少なくなった時間に清掃・消毒を行った。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	仕様書で求められた点検、検査を適正に実行した。
	利用者の満足度はどうか	4	アンケートでいただいた意見で改善できる点は即改善した。図書室のマンガは子どもたちが読みたいとリクエストのあった物を購入した。日頃から利用者・保護者とコミュニケーションを取り、ニーズの把握に努めている。
サービスの質に関する評価	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者からのニーズに応え西町親子ひろばにおいて「おはなしひろば」を実施、系列保育園とのコラボ企画として保育士によるベビーマッサージも実施し多くの乳幼児親子に喜ばれた。児童館においても小学生のニーズに応えてカードゲーム大会やコマ大会を実施し小学生の来館につながった。定期的にファイヤー企画を実施、日曜開館の実施など利用者のニーズに応えた。18時以降は中高生タイムを開催し中学生の利用につながった。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	指定管理者主催のマナー研修に参加するなど、職員のマナーの向上に努めた。保護者に対し、怪我・トラブルなど丁寧に対応した。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	令和6年度はにしまち児童館・西町学童保育所ともにクレームはなかった。ご意見があった場合は報告、内容調査、対策・改善を速やかに実施していく。
	個人情報が適切に取り扱われているか	3	関係機関とのやり取りの中で、守秘義務を意識しながら情報の共有を行った。個人情報は鍵付きの引出しに保管し、閉館・開所時に施錠している。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	消防所の職員によるAEDを使用するの大人と乳幼児の怪我対応・応急救護の訓練を行った。学童においては防犯訓練を実施した。個人情報の取扱いについても施設内で研修を実施した。市、指定管理者の主催する研修に参加した。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	合理的配慮の必要な利用者も他の利用者と同様でなく児童館を利用出来るようにしている。利用者の中にはツリーハウスの子ども達もいる。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
	自然災害等への対応	4	学童においては隔月の避難訓練を行い、児童館においても年2回、地域センター・生きがいセンター合同の避難訓練の他に避難訓練(職員のみ参加)毎月実施した。避難訓練では回数を重ねることに迅速に対応できた。空気清浄機を継続して設置し、手洗いうがいの声かけをして感染症対策を行い、定期的におもちやの消毒も行った。学童においては登所入数により分散保育を実施し、学校休業中については保護者の理解を得てより広い児童館で保育を実施した。
学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	学童においては子どもたちの情報共有や学校施設の利用を通して連携した。保護者に対しては個別に面談を実施したり、電話連絡を行った際に児童の様子を伝え信頼関係を構築している。児童館においては成長段階に応じた遊びの提供を行い、遊具も成長段階とニーズに応じたものを取り入れた。また学童ではお迎えの際の食話や、気になる案件に関しては電話連絡を行い保護者と信頼関係を構築した。7月の七夕祭りや12月のしめ縄作りの際には地域の方に材料の提供等の協力を頂き企画を実施した。	
配慮を要する児童への対応について	4	配慮を必要とする児童の特性を職員全体で把握し、児童が過ごしやすい環境を出来るだけ整えた。児童が過ごしやすい部屋で保育出来るよう工夫して対応した。食物アレルギーの児童へのおやつは食品の原材料チェックや工程の確認を職員全員で実施し個別のお皿を使用して提供した。またイベント持参の児童に対しては日々のエビベンチェックとランドセルの場所の確認を職員で行った。毎日の職員ミーティング・星礼で障害児や食物アレルギー児への対応について情報共有し対応を周知した。	
指定管理者の自己評価			
総合評価		評価の理由等	
4	市の要求水準を上回っている	子ども同士のトラブル、怪我の対応など1つずつ丁寧に対応した。利用者のニーズを聞き取り、要望の高かったマンガや新しいおもちゃを購入したりした。工作や調理のイベントでは感染症対策をして開催した。小学生からの要望が多かったコマ大会も実施し、来館につながった。秋のプラザまつりでは多世代の交流の場として体験コーナーで吹矢や輪投げを体験してもらった。11月にはウエストタウンまつりを開催して多くの利用者の来館があった。西町学童保育所においては、自主事業として地域の方に協力して頂きながら「しめ縄作り」を実施、異年齢の交流の場として〇〇タイムの中でJUMP-JAMの遊びを取り入れて様々な体験ができるようにした。又、地域の方に喜んでもらえるようクリスマスには国分寺市イメージキャラクター・ぶんじはたるのホッちゃんに似せたしめ縄作りを実施したり、春にはひな飾りと吊るし雛を飾り来館者に喜んでもらい、秋には敬老行事で学童から地域の方々へ手紙を書いてそれを掲示した。	
評価者氏名：川尻 亜利奈			

事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	西町地域センター・生きがいセンターにしまち
指定管理者名	株式会社こどもの森

※評価額は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
画収 確 性 の 支 適 計	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年間を通しての収支において適正に執行した。
業務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されているか	4	協定書に基づき、生きがいセンターの運営・管理を行った。また新規にストレッチでリラックスとハンドメイド小物作りを開講した。地域センターにおいても協定書に基づき運営・管理を行った。また多世代の集う西町プラザの特徴をいかし、季節を感じてもらえるよう季節に応じた飾りつけを実施し利用者に季節を感じてもらう季節行事を実施し今年も西町プラザまつりを実施した。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	仕様書等で求められた時間を守った。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員数が確保されている。また、統括管理責任者を中心として執行体制が明確になっている。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	3	仕様書で求められた有資格者を確保している。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	適正に保管している。また、随時必要な報告を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	仕様書で求められた清掃を行い、環境整備に努めている。生きがいセンター・地域センターにおいては職員による施設内の消毒作業を日々の清掃の際に行った。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	仕様書で求められた点検、検査を適正に実行した。
サ ー ビ ス の 質 に 関 す る 評 価	利用者の満足度はどうか	4	アンケート等を参考にしても利用者全体の満足度は高く、これからも利用者の目線に立ち、気持ちよく利用してもらえるようにしていきたい。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケート等で頂いた意見を反映するために、施設整備や職員研修を行った。楽器がなく持参するのが大変とのご意見があり担当課とも相談して楽器の場所を入れ替えて対応した。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	指定管理者主催のマナー研修に参加するなど、職員のマナーの向上に努めた。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	令和6年度は地域センター・生きがいセンターともにクレームはなかった。施設がよごれている、にゴミが落ちている、等のご意見を頂いたので清掃の強化を行い再発防止のため職員全体への指導を行った。今後も意見があった場合は報告、内容調査、対策・改善を速やかに実施していく。地域センター2階誰でもトイレの自動ドアが故障し利用者にご不便をお掛けした。令和7年度に修繕予定。
	個人情報適切に取り扱われているか	3	関係機関とのやり取りの中で、守秘義務を意識しながら情報の共有を行った。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	市、指定管理者の主催する研修に、都度参加している。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であるか	3	聴覚に障害のある利用者団体へは筆談や電話リレーサービスの連絡にも対応し適切な対応をした。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
施設 水 準 特 性 の 評 価 に 応 じ た	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見を西町プラザの運営に反映すること)	3	利用者協議会役員会に参加した。プラザまつりを開催したいとの意見を反映してまつりを開催した。 利用者協議会での資源回収への協力を行った。
	地域との連携(西町プラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	弁天町内会の夏まつりの実施に協力し会場の提供をした。西町プラザまつりを利用者協議会とも連携して実施した。
	高齢者の健康作りを目的とした自主事業を、地域特性・複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	4	複合施設の特性を生かし、一階ロビーと二階ロビーにおいて地域センターを利用の「ひまわりの会」と生きがいセンターを利用している「好面会」の団体による自主事業の作品展示会を実施し、作品を発表する場と団体の活動を利用者に知ってもらう機会とした。生きがいセンターにおいて今年度は「落語会」を2回企画し多くの方が楽しみに参加され、たくさん笑って頂き好評だった。
指定管理者の自己評価			
総合評価		評価の理由等	
4	市の要求水準を上回っている	利用者の言葉に耳を傾け、利用者が快適に過ごせる様に改善を行った。自主事業として季節を感じられる皆の憩いの場となるように、施設内の飾りつけを行い利用者に季節を感じてもらった。利用者協議会の活動を活性化させるためにその資金となる資源物回収に協力した。利用者の声を聞き、今年度も西町プラザまつりを開催し多くの方に楽しんでもらい、地域の活性化に努めた。利用者協議会役員会と連携し役員会の開催や利用者協議会の開催の準備を行った。また、作品発表の場として生きがいセンターと地域センターの利用団体及び生きがい交流事業受講生も参加して展示会を企画実施した。	
評価者氏名：川尻 亜利奈			